

房州ちくら漁協瀬戸定置網に入ったイセゴイについて

漁獲日：平成18年12月15日（木）

房州ちくら漁協白子瀬戸支所から、「定置網にターポンのような魚が入ったので見て欲しい」との電話があり、現場へ行きサンプルを提供していただきました。

研究センターに持ち帰って同定を行ったところ、カライワシ目イセゴイ科のイセゴイ *Megalops cyprinoides* であることがわかりました。



全長：57.4cm, 尾叉長：48.5cm, 体重：1.5kg, 性別：♀
側線鱗数：39, 鰓耙数：7+19, 胃内容物：カタクチイワシ1尾

【イセゴイについて】

分布は新潟県佐渡島以南の日本海沿岸、東京湾、伊豆半島、浜名湖、琉球列島、インド・西部太平洋の暖海域の表層。幼魚は汽水域や淡水域に侵入する。

- ・平成15年11月岩手県釜石の定置網で入網（H14年大船渡でも水揚げあり）
 - ・平成17年11月神奈川県小田原の定置網に入網（TL55cm）
- などの報告があります。

白子瀬戸では初めて入網したとのこと。

試食したところ、身は崩れるほど柔らかく水っぽい白身で、非常に不味い魚でした。



背鰭（背鰭の最後の軟条が細く伸びる）
と尻鰭（背鰭基底長より尻鰭基底長のほうが長い）